

埼玉県大学・短期大学図書館協議会／第21回実務担当者研修会  
「あらためて大学図書館のレファレンスを考える」（2009.12.9, 埼玉大学）

---

# レファレンス能力を高める “選書”という行為

(財) 大学コンソーシアム京都（同志社大学所属）  
同志社大学社会学部・「学術情報利用教育論」担当

井 上 真 琴

---



## ■ 本日の全体構成

- I. 同志社大学での「選書」の政策ポイント
- II. 選書の実際：どう評価能力をつけるのか
- III. レファレンスサービス実践との関係は？

## 同志社大学での政策ポイント

- **学習図書費と研究図書費の分離所管**  
図書館資料費の研究用資料費への流用なし
- **教員と財務部門への納得のいく説明**  
選択基準・選択方法の報告・信頼獲得

### 図書館員による蔵書構築体制

全点見計い選択：資料収集作業部会（6-7名）  
蔵書構築用「資料選択基準」（約100頁）維持改訂

## 選書能力・情報評価能力の育成は

---

- ▶ シラバスの読み込み
- ▶ 『日本全国書誌』等の読み込み
  
- ▶ 見計い選書作業
- ▶ 資料評価フレームづくり：  
財務部と教員への説明根拠  
レファレンスや利用教育の職能開発



## Ⅱ. 選書の実際：どう評価能力をつけるのか

# 評価フレーム：資料評価の遠近法・座標軸

### ● 収集方針

#### ■ 収集する資料の範囲および優先順位

(1) カリキュラムに沿った学習用資料

(2) 各分野の研究に必要な基本的・標準的資料

(3) 各分野で共通に必要なとされる資料、および各分野の中間領域・境界領域に該当する資料

(4) 各分野に共通する参考図書資料

(5) 学生の教養を高め人間形成に役立つ資料

(6) 本学の歴史およびそれに関連する資料

(7) 特色あるコレクションの充実のための資料

## ●一般基準と分類別基準

### [記念論文集]

○記念論文集は特殊な場合を除き原則として収集する。ただし、被記念者の実績、著作がほとんどない場合や、主題として統一性のない論文を集めて刊行した場合等の記念論文集は収集しない。

### [社史、各種団体史]

○企業、団体等の社史、団体史は問題のない限り網羅的に収集する。ただし、その内容が、企業の伝的色彩が強いもの、グラビアのみ等は収集しない。

### [教員推薦資料]

○教員推薦の資料は積極的に収集する。利用度の高いものは複本で収集する。ただし語学テキスト類や、専門(専攻)の研究用資料は収集しない。

### [非収集資料]

○次の資料は原則として収集しない。

- a) 実用書、技術書、趣味の本
- b) 児童書
- c) 一般読物としての漫画、絵本
- d) 資格試験用の受験参考書、問題集
- e) 個人、政党、企業、宗派等の宣伝的な色彩が強いもの。

## Ⅱ. 選書の実際：どう評価能力をつけるのか

選択基準の事例(抜粋)

[143、145、146]

### 発達心理学. 異常心理学. 臨床心理学. 精神分析学

- 比較的資料は揃っている。(異常心理学関係は少ない)
- 専攻だけでなく一般的利用も多い分野なので積極的に収集する。
- 心理学に関連して、精神病理学関連の資料で臨床医学的なものは収集していない。
- 社会的に関心をもたれている老年心理(147.3)、災害被災者と心的ケア(146.8)に関する資料に留意する。

▲発達心理学、児童心理学、臨床心理学、精神病理学

科目名

[147, 148]超心理学. 心霊研究. 相法. 易占

- 趣味的な資料は収集していないが、歴史的、学術的な資料は収集する場合がある。

[例]「近世陰陽道史の研究」

「中国古代陰陽五行の研究」

# 圖書選採作業 【研修教材】

## BLACKWELL社 APPROVAL PLAN

※PROFILING購入

※蔵書CONSPECTUS

### 04: Approval Status

04:01 Treated on Approval

04:07 Forms - Nonreturnable (Firm Order Only): The book will not be sent on approval, but an announcement form will be supplied. If the library chooses to order the book, it is not returnable. This designation is most often used when the publisher severely limits or does not accept returns.

04:08 Forms - Returnable: Similar to 04:07, but those libraries desiring to inspect the actual books have full return privileges. This designation is applied in unusual circumstances, on titles of marginal quality, or of marginal interest to most academic libraries.

### 05: Type of Book

Describes the arrangement or nature of the text or work.

05:01 General: A narrative text, or any other type of book that cannot be described by one of the following book types. The majority of approval books are given this designation.

05:02 Encyclopedia: An encyclopedic reference, either general or related to a specific field.

05:03 Selected/Collected Works: Previously published works by a single author, either all works or selections in one genre (e.g., Shakespeare's collected sonnets). Works which have NOT been published before will be coded General - 05:01.

05:05 Symposium: The papers, proceedings, or transactions from a meeting, colloquium, symposium, course, etc.

05:07 Collected Articles, Not Previously Published: A collection of articles written by several authors specifically for this volume; not necessarily limited to one subject or intended as a definitive volume on a subject. Articles may be in more than one language.

05:08 Collected Articles, Previously Published: A collection of articles by various authors, which have previously appeared in print elsewhere.

05:09 Anthology: A collection of literary works by various authors, that may or may not have been previously published elsewhere. Occasionally used for collections of non-literary, but classic articles.

05:10 Miscellaneous Reference Works: Reference works not described by another designation in this category. Includes: abstracts & extracts; catalogs (but not art exhibition catalogs, for which see 05:42); indexing systems; indexes; thesauruses; grammars, and discographies. For geographical dictionaries (gazetteers), use Dictionaries, 05:14.

05:12 Bibliography: A listing of written works on a specific subject, in a specific collection, by a specific author, etc.

05:14 Dictionary: A dictionary in one language, or several languages, either general or devoted to a particular subject; includes biographical and geographical dictionaries (gazetteers).

① 資料概要	タイトル		校地				
	種別	学生希望 / 教員推薦 / 図選	所属学部				
	1年間の価格		刊行頻度				
	理由						
	雑誌の概要 有 / 無 (雑誌新聞そう かたろぐ・Ulrich)						
	現物見本	学内所蔵取り寄せ / 見計い依頼					
② 内容評価	資料発行機関の概要 ( )						
	編集方針						
	執筆者人のレベル						
	コア雑誌等での評価						
	NDL雑誌記事索引	ヒット / ノーヒット					
	書評誌・新聞での記載						
	類書の種類と所蔵状況	タイトル	発行元	刊行頻度	部数	学内所蔵	NC所蔵数
	今回検討雑誌→						
	以下、類書→						
	講義との関係						
③ 代替利用	学内所蔵状況						
	学外所蔵状況	NC所蔵館数	館				
		NC所蔵館の特徴	中央館 / 専門館				
		NC継続状況					
		近隣大学の所蔵状況					
		NDL所蔵状況					
		専門図書室所蔵状況					
	公立図書館の所蔵状況						
	電子媒体の有 / 無	NACSIS-ELS / 発行元HP / DB	収録期間				

総合雑誌の場合は、掲載論文が「論壇時評」等にどれだけ取り上げられるかなど

# ● 雑誌購読可否決定 評価フレーム表



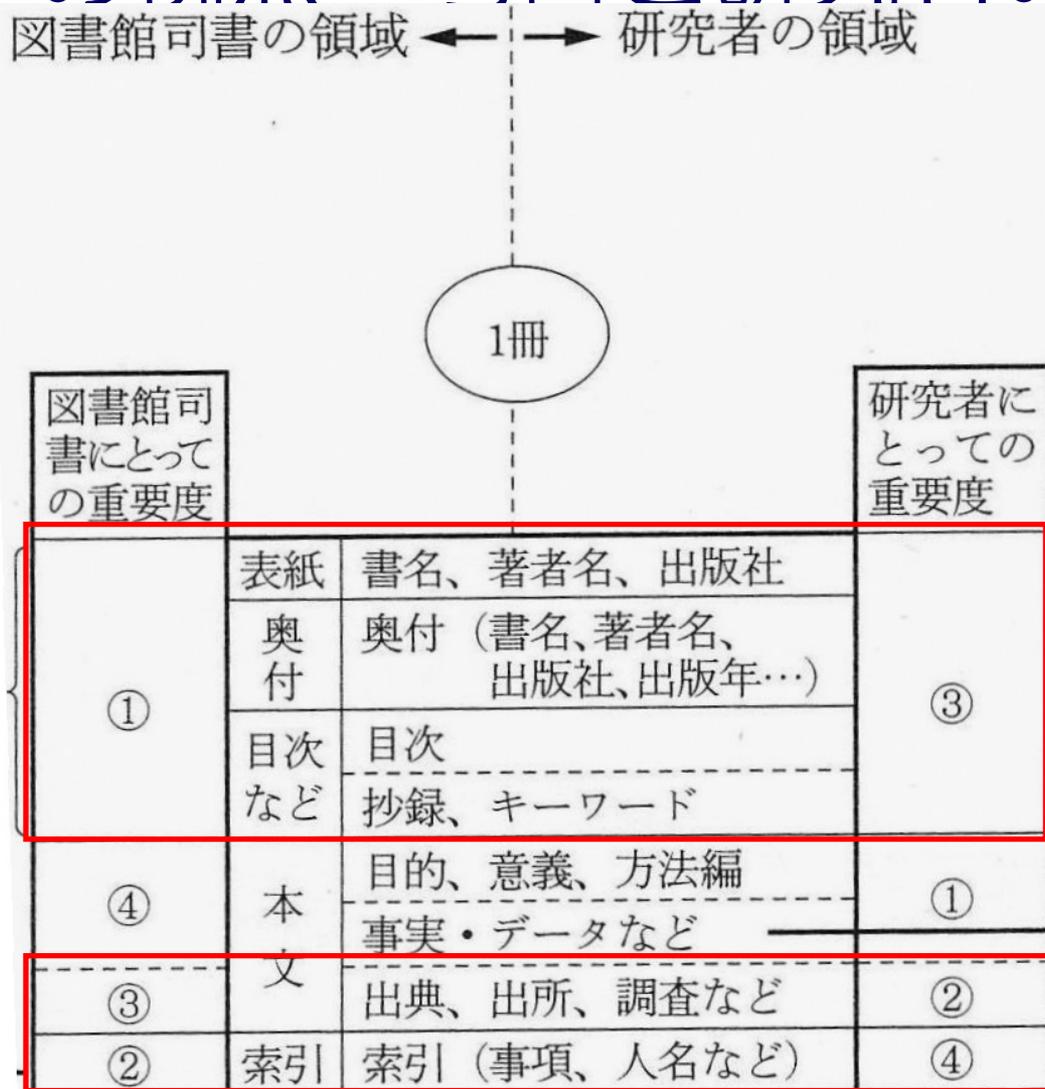
# データベース評価フレーム（システム機能）

データベースの機能比較

		聞蔵	毎日	日経テレコン21	産経	ヨミダス	ProQuest	Factiva.com	
分野		新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	新聞・雑誌記事	新聞	
ソースリスト		-	-	-	-	-	-	○	
検索フォームの種類	キーワード検索	○	○	○	○	○	○	○	
	コマンド検索	×	×	○	×	×	○	○	
演算子	ブール演算	&(and),#(not),+(or)	and,not,or	and,not,or	and,or	and,or,not	and,or,and not	and,or,not	
	近接演算	-	-	-	-	-	W/n:n語数内 W/PARA:同一段落内 W/DOC:同一文書内 PRE/n:直前n語以内	atleastn:少なくともn回キーワードを含む same:同一段落内 w/n:n語数内 adjn:n文字内 nearn:n語数内 (順序は問わない)	
	マスク文字	前方一致	-	@	@	-	*	*	*
		中間一致	-	-	-	-	*	?(1文字)	-
		後方一致	-	-	@	-	*	-	-
優先順位	not > and > or	not > and > or	not > and > or	-	-	or > and	-		
インデキシング	全文	○	○	○	×	○	-	-	
	キーワード	×	○	○	○	○	○	○	
	ヨミ検索	×	×	×	×	○	-	-	
区別	全角・半角	なし	なし	なし	なし	なし	-	-	
	大文字・小文字	なし	あり	あり	なし	なし	なし	なし	
	中黒・句読点	あり	あり	あり	なし	あり	-	-	
	旧字体・異体字	あり	あり	あり	なし	あり	-	-	
辞書	シソーラス	×	×	○	×	○	○	○	
	その他	関連キーワード参照機能あり	フリーキーワードには、本文中にない同義語が設定されることもあり	同義語展開選択可	連想検索機能あり	ヨミダス用語辞書と連動	-	類似検索機能あり	

## II. 選書の実際：どう評価能力をつけるのか

# 図書館への視点—司書と研究者の違い



大串夏身『これからの図書館』（青弓社、2002）

## II. 選書の実際：どう評価能力をつけるのか

### 選書の実際：日常の点検事項（1）

---

#### 《定点観測》

- ▶ 日本全国書誌：政府・地方公共団体の灰色文献
  - ▶ 週刊読書人：マガジンレーダー、選定図書週報  
上・下半期の収穫、年度回顧特集  
論調欄（朝日新聞「論壇時評」など）
  - ▶ 出版ニュース：出版関係文献資料
  - ▶ 日本古書通信：特殊文献の紹介
  - ▶ KINOLINE（紀伊国屋書店）のDB紹介
- 



## 選書の実際：日常の点検事項（2）

---

### 《メイキング文献の読解》

- ▶ 講座・全集の月報・パンフレット
- ▶ PR誌の記事
  - 宮下志朗「底本に迷う」(『図書』659号)
  - 船曳・佐藤「対談 メーキング・オブ・柳田國男」(『ちくま』320, 321号)
- ▶ 単行本のチェック
  - 松井栄一『国語辞典はこうして作る』(港の人)
  - 村橋勝子『社史の研究』(ダイヤモンド社)



## 選書の実際：日常の点検事項（3）

---

▶ 出版社の編集部、印刷所等を見学

※小学館・日本国語大辞典編集部／百科事典編集部

▶ 出版賞の選評・評価

※雄松堂・ゲスナー賞発表会

よい書誌・文献目録の条件等

**“創作のシーン”を垣間みることが重要**



## 「編まれ方」の理解を進める

---

▶ 教科書・テキストの基本

（「この章のねらい」各章「まとめ」）

▶ リーディングス系

『リーディングス 日本の教育と社会』

「学力問題・ゆとり教育」、「いじめ・不登校」の巻

『歴史の中のコミュニケーション』

『新編 日本のフェミニズム』

▶ 講座系（○○講座／シリーズ○○）

『源氏物語講座』別巻 事典や文献目録など

---



## 「使われ方」を意識する

---

手にした資料でどのような学習が可能か  
何が展開できるのかを常に考える

- ▶ 例としての『業種別審査事典』
  - 総合学習(特に商業系)
  - インターンシップ、就職活動
- ▶ NDLレファレンス協同データベース
  - 参考図書が使われ方
  - インターネット情報源(“http://”)



## レファレンス現場での具体例

---

### (事例)

- ▶ 雑誌記事と単行本との関係：宮本輝論
- ▶ 社史の本領：オムロンの売上高推移
- ▶ 政府系資料へのアプローチ：委託調査
- ▶ ドキュメントタイプの把握：脂肪酸表
  
- ▶ その他



# 本日のまとめ

---

- ▶ 「二毛作」が可能な選書体制を組む。  
※レファレンスや利用教育との連動
- ▶ 自分たちなりの評価フレームをつくる。  
他人にも自分にも、「なぜ選んだか」を説明できるか
- ▶ 「資料紹介の専門家」か  
「資料そのものの専門家」になるのか。

## ※参考文献

---

### ▶ 学習支援への傾斜

『学士課程教育の構築にむけて(審議のまとめ)』

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/080410.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/080410.htm)

(参照日 2008-8-8)

『今後の「大学像」の在り方に関する調査研究(図書館)報告書』

<http://www.kc.tsukuba.ac.jp/div-comm/> (参照日 2007-7-6-28)

米澤誠 「研究文献レビュー:学習・教育基盤としての図書館」

<http://current.ndl.go.jp/ca1668> (参照日 2008-8-8)

### ▶ 同志社大学の選書体制

丹羽展子, 井上真琴. 「学習支援のための選書を目指して —同志社大学図書館の試み」,  
『図書館雑誌』, 101(6)

### ▶ 選書のスキル

大串夏身, 『これからの図書館』, 青弓社, 2002

井上真琴, 「出版物の『編まれ方』を読む」, 『情報の科学と技術』, 56(8)

井上真琴, 「図書館の歩き方」, 『図書新聞』, 2007年6月23日号

---